

## 8 1946年（昭和21）2月 中田政夫が見た岡山



234 素描 駅前中筋通り闇市場 昭和二十一年二月十一日 中田政夫 作、紙、水彩 1946年（昭和21）2月11日

中田政夫〔1905～1980年（明治38～昭和55）〕は岡山市北区丸の内生まれ、東京の川端画学校で洋画を学びました。帰岡後は小林喜一郎〔1895～1961年（明治28～昭和36）〕に師事し、1933年（昭和8）には、岡山からは初めて第11回春陽会展に入選し、その後も入選を重ねて洋画家として嘱望されます。1939年（昭和14）には中国大陸へ写生旅行に行き、帰国後の9月には岡山で個展を開催しています。しかし、1944年（昭和19）に徴用されて三菱水島航空機製作所で働くこととなり、そのまま終戦を迎えました。青地秀太郎、竹内清、日原晃らと交流し、終戦後は水墨画も試み、備中神楽をテーマにした作品でも知られました。



1946年（昭和21）2月に描かれたこの20点の素描は1985年（昭和60）に岡山で開催された展覧会（「あれから40年 本土大空襲展」岡山大空襲展 6月29日～7月3日 岡山天満屋本店）で初めて全作品が紹介されたようです。当時の紹介記事には「中田政夫さんは画家で、空襲まで中田さん一家は岡山市弓之町に住んでいた。十九年に徴用されるまで、絵をかき続けていた。空襲で家は全焼したが、地中に深く埋めて守った絵の具は無事だった。二十枚のスケッチは、絵筆をとり直した初の作品だ。寒さがきびしい二月「焼け跡を記憶に残したい」と連日、出かけた。」と妻のキミコさんの談話を紹介しています。

作品にはそれぞれ場所と日付が記されており、2月5日から16日までの2週間程の期間に描かれたことがわかります。専売局の廃墟や蓮昌寺といった岡山空襲による破壊の痕跡が色濃く残る場所、現在の駅前商店街である中筋や西大寺町（現表町3丁目）、京橋の船着場などに集う人々、岡山駅前の進駐軍兵士の姿など、空襲の爪痕を残しつつも、にぎわいを取り戻して復興しつつある岡山の風景が切り取られています。

\* 『朝日新聞』1985年（昭和60）6月25日朝刊「六月二十九日未明 岡山大空襲展によせて 遺品は語る④」

\* 36-39 p 掲載の中田政夫の作品、関連画像データについては全て個人所蔵。



224 素描 専売局の焼跡を望ム 昭和二十一年二月五日  
中田政夫 作、紙、水彩 1946年(昭和21)2月5日



225 素描 昭和二十一年二月五日 日限地藏尊より北を望  
中田政夫 作、紙、水彩 1946年(昭和21)2月5日



226 素描 城下交叉点 昭和二十一年二月八日写  
中田政夫 作、紙、水彩 1946年(昭和21)2月8日



227 素描 中之町横筋いなり市場 昭和二十一年二月九日写  
中田政夫 作、紙、水彩 1946年(昭和21)2月9日



228 素描 西中山下岡山倶楽部附近より南方を望ム 昭和二十一年二月十日写 中田政夫 作、紙、水彩 1946年(昭和21)2月10日



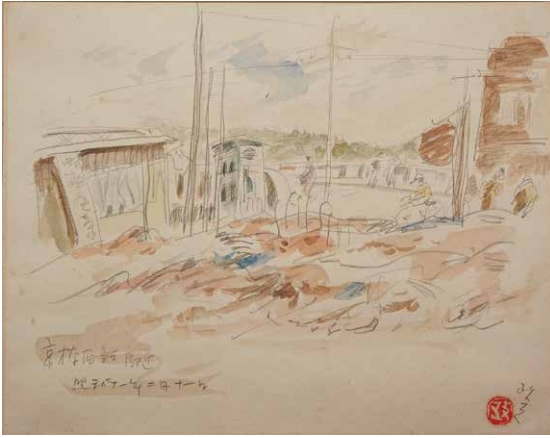
229 素描 萬町踏切附近 昭和二十一年二月十日写  
中田政夫 作、紙、水彩 1946年(昭和21)2月10日



230 素描 駅前中筋通り闇市場を裏から見る 昭和二十一年二月十一日 中田政夫 作、紙、水彩 1946年(昭和21)2月8日



231 素描 小橋西詰を望ム 昭和二十一年二月十一日  
中田政夫 作、紙、水彩 1946年(昭和21)2月11日



232 素描 京橋西詰附近 昭和二十一年二月十一日  
中田政夫 作、紙、水彩 1946年(昭和21)2月11日



233 素描 西大寺町停留所附近を望ム 昭和二十一年二月十一日  
中田政夫 作、紙、水彩 1946年(昭和21)2月11日



235 素描 中国銀行電停附近 昭和二十一年二月十四日  
中田政夫 作、紙、水彩 1946年(昭和21)2月14日



236 素描 旭川畔より月見櫓を望ム 昭和二十一年二月十四日  
中田政夫 作、紙、水彩 1946年(昭和21)2月14日



237 素描 東田町蓮昌寺正門より境内を望ム 昭和二十一年二月十四日  
中田政夫 作、紙、水彩 1946年(昭和21)2月14日



238 素描 下之町横町の露店商 昭和二十一年二月十四日  
中田政夫 作、紙、水彩 1946年(昭和21)2月14日



239 素描 県会議事堂を望ム 昭和二十一年二月十四日  
中田政夫 作、紙、水彩 1946年(昭和21)2月14日



240 素描 東田町附近 昭和二十一年二月十五日  
中田政夫 作、紙、水彩 1946年(昭和21)2月15日



241 素描 西川筋より磨屋町通りを望ム 昭和二十一年二月十五日 中田政夫 作、紙、水彩 1946年(昭和21)2月15日



242 素描 出船を待つ人群リ 京橋下にて 昭和二十一年二月十五日 中田政夫 作、紙、水彩 1946年(昭和21)2月15日



「昭和 14.4. 天津南海大学爆撃跡」中田政夫旧蔵アルバムより 1939年(昭和14)



243 素描 バラックの立並んだ岡山駅前通り 昭和二十一年二月十六日 中田政夫 作、紙、水彩 1946年(昭和21)2月16日



「昭和 14.4. 天津南海大学爆撃跡」中田政夫旧蔵アルバムより 1939年(昭和14)



明治屋 (現岡山市表町) で開催された「中田政夫 北支風景洋画展覧会」看板 1939年(昭和14)9月9~11日 中田政夫旧蔵アルバムより

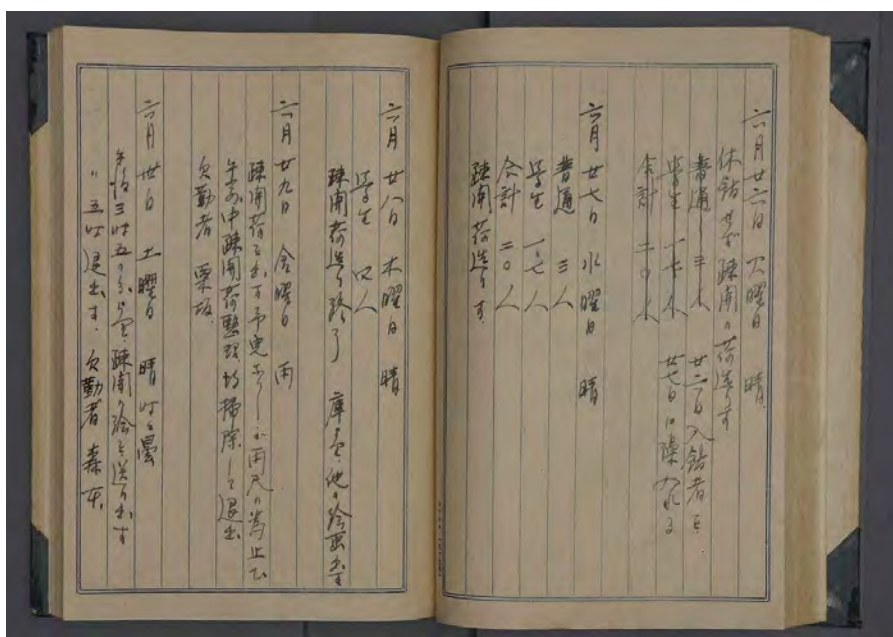


「三菱水島航空機製作所 第六工場第十期生第八班記念撮影」 1944年(昭和19)

# 9 終戦へ

1945年(昭和20)3月末には米軍が沖縄に上陸し、日本各地で空襲が激しくなる中、本土決戦に向けて老人と幼児を除いた全国民を組織した国民義勇隊が結成されることになり、岡山市でも5月27日には結成式が行われました。職場、地域ごとに編成された岡山市国民義勇隊は6月中旬以降、空襲に備えて防火帯を作るために建物を撤去する建物疎開や、大刀洗飛行場(南区浦安本町)建設などに動員されました。通常の仕事や生活に加えての激しい奉仕活動は栄養状態が良くない中、大変な負担だったようです。

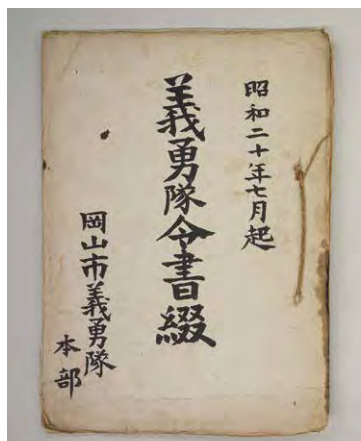
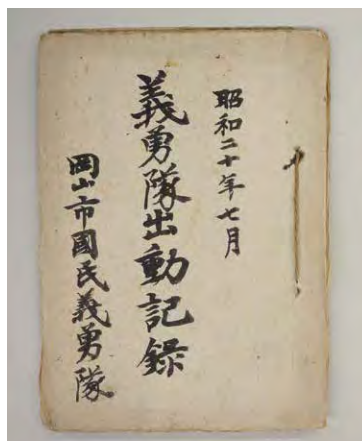
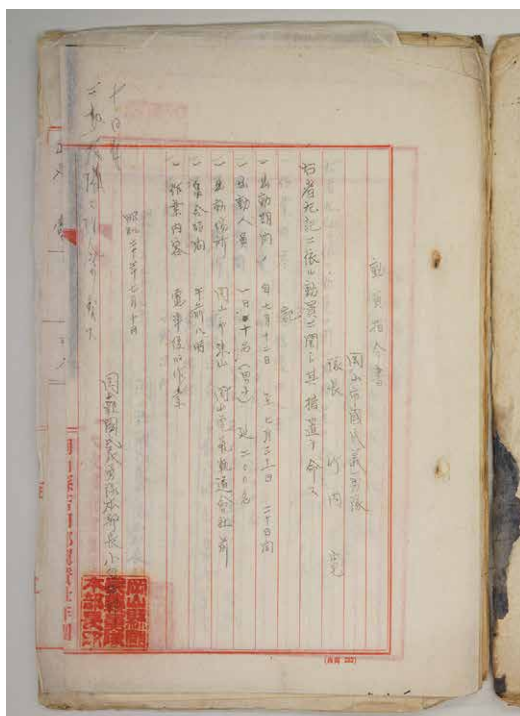
岡山空襲後は、罹災者をなるべくのぞいた岡山市国民義勇隊が焼跡の整理や遺体収容など復興作業に駆り出されました。また、6月23日には義勇兵法が発令され、7月には一定年齢の男女に兵役を課し、国民義勇戦闘隊を再編成するよう中国軍管区司令部から命令されます。日本軍の後方支援をする立場だった国民義勇隊と異なり、戦闘することを前提とした組織再編でした。実際には戦うことなく終戦を迎え、空襲の恐怖からは解放されたものの、10月23日に始まった進駐軍による占領、さらにひどくなる食料不足、激しいインフレなど、多くの人が戦時中よりも大変だったとふりかえるような状況でした。



六月廿七日 水曜日 晴	普通 三人	学生 一七人	合計 二〇人	疎開荷造りす
六月廿八日 木曜日 晴	疎開荷造り終了	庫より他の絵画出す	学生 四人	
六月廿九日 金曜日 雨	疎開荷を出す予定なりしが雨天の為止む	午前中疎開荷整理後掃除して退出	欠勤者 栗坂	
六月卅日 土曜日 晴時々曇	午後三時五分より疎開の絵を送り出す	五時退出す、欠勤者 森本		

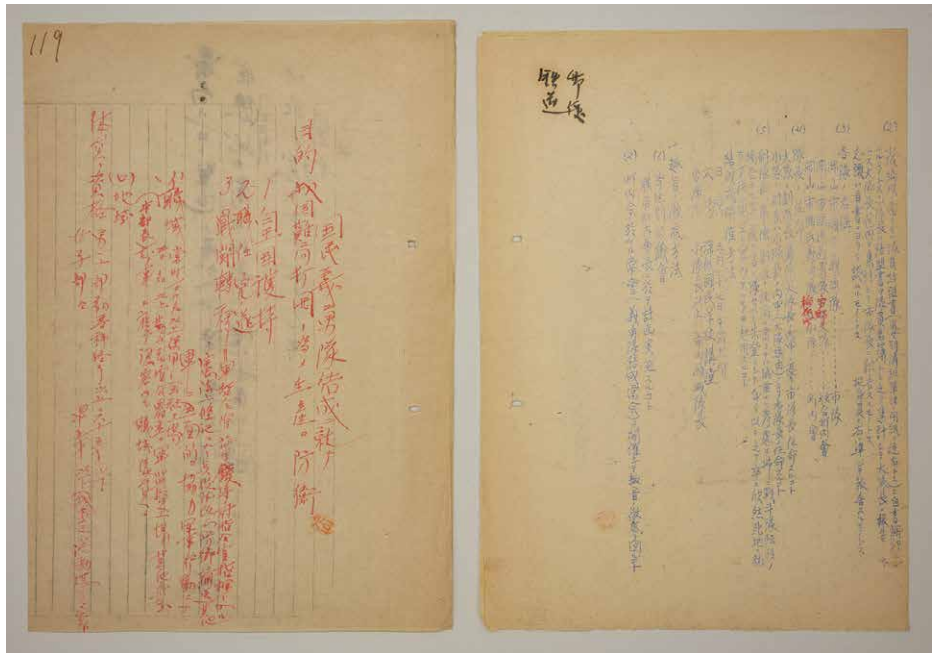
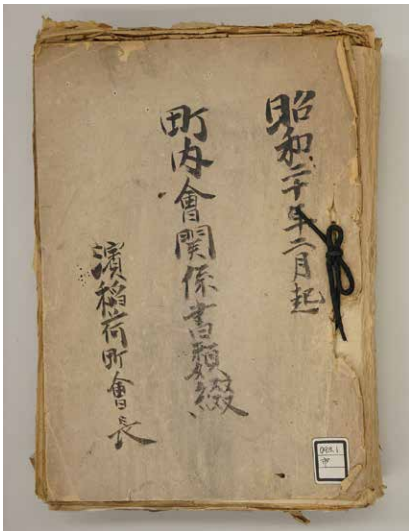
217 『大原美術館日誌 1945年』 公益財団法人 大原美術館所蔵

大原美術館では、空襲が激しくなる中、美術品の疎開を行っています。5月中旬に岡山市北区日近に疎開先を決め、6月25日から絵画の梱包を始めます。6月29日、岡山空襲の様子を見ながらも雨のため搬出できず、30日になってやっと第一便を搬送することが出来たようです。

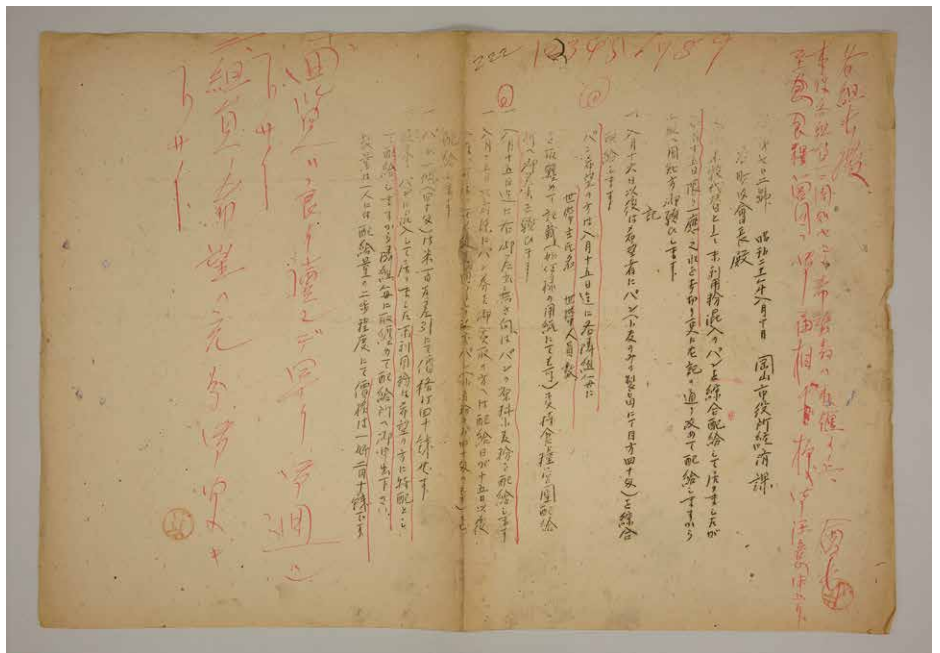
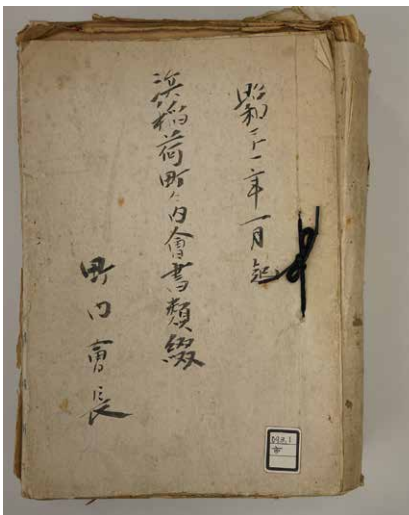


上左・左 218 『昭和二十年七月 義勇隊出動記録』  
上右 219 『昭和二十年七月起 義勇隊令書綴』  
いずれも岡山市国民義勇隊本部作成 1945年(昭和20)7月  
岡山市立中央図書館所蔵・画像データ提供

岡山市国民義勇隊に関する書類は、岡山空襲により一度焼失しているために、7月以降の復興に関するものがほとんどです。左は7月12日から31日までの間、岡山電気軌道会社の電車の復旧作業に男性を一日10名ずつ派遣するように岡山県知事名で命令されています。



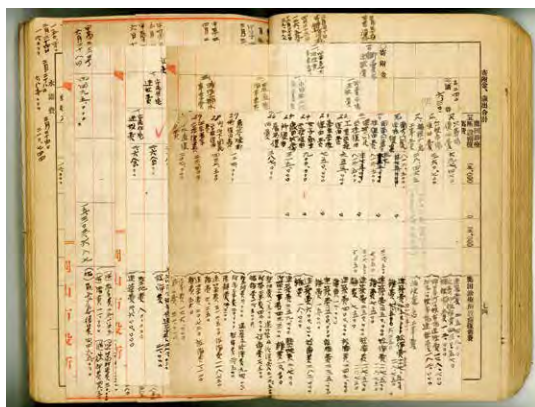
220 『昭和二十年二月起 町内会関係書類綴』 岡山市立中央図書館所蔵・画像データ提供  
 浜稻荷町町内会長が1945年（昭和19）度分の関係書類を綴じた簿冊。配布文書の項目は300件近くもあります。上は国民義勇隊結成に際しての覚え書き部分です。「難局打開」「1皇国護持 2職任完遂 3戦闘陣轉移」などの言葉が並びます。



221 『昭和二十一年一月起 浜稻荷町々内会書類綴』 岡山市立中央図書館所蔵・画像データ提供  
 1946年（昭和21）度分の書類が綴られています。件数は380件もあり、進駐軍への対処やDDT散布など終戦後ならではの内容も含まれています。上は8月10日付で岡山市役所経済課が各町内会長にあてたもので、8月15日までは未利用食粉（野草などを乾燥粉末にしたもの）入りのパンを支給していたが16日以後は希望者には小麦粉のみで作ったパンを支給するのでとりまとめるように、とあります。

右 222 『岡山市町別戦災調査資料』 吉岡三平編 1946年（昭和21）  
 岡山市立中央図書館所蔵・画像データ提供  
 岡山空襲による被害を記録し、町別に丹念に聞き取り調査を行った報告書です。

左 223 『昭和二十一年度岡山県岡山市歳入歳出予算書』 1946年（昭和21）  
 岡山市水道局所蔵  
 岡山市の公共施設はそのほとんどが岡山空襲により焼失しており、復興予算が何度も補正予算として計上されています。

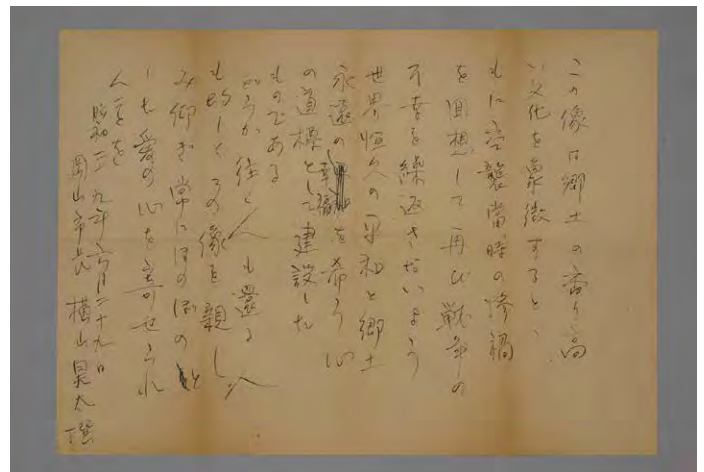


# 10 戦後の生活と平和への祈り



現在の西川緑道公園内の平和の像と碑文  
(彫型 岡本錦朋 内田鶴雲 書)

西川緑道公園の中、野殿橋の近くに平和の像があります。この像には1951～1954年（昭和26～29）に岡山市長をつとめた横山昊太〔1889～1974年（明治22～昭和49）〕の碑文が添えられています。横山昊太は岡山空襲の際には、この近くに住んでおり、町民を守る立場の町内会長でもありました。空襲から9年後に書かれた撰文には、体験者ならではの強い平和への思いが込められています。

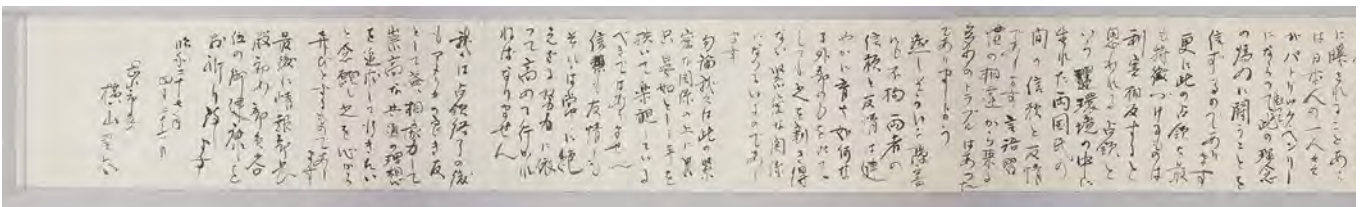


この像は郷土の香り高い文化を象徴すると、もに空襲當時の惨禍を回想して再び戦争の不幸を繰返さないよう世界恒久の平和と郷土永遠の平和幸福を希う心の道標として建設したものである  
どうか往く人も還る人も均しくその像を親しみ仰ぎ常にほのぼのとした愛の心を寄せられんことを  
昭和二十九年六月二十九日  
岡山市長 横山昊太撰

249 岡山市平和像添碑銘文草稿 横山昊太  
岡山市立中央図書館所蔵・画像データ提供



251 岡山市平和像記念絵葉書 岡山市立中央図書館所蔵・画像データ提供



にさらされることあらば、日本人の一人一人がパトリックヘンリーにならなくてはならない。法の小論うとも信ずるのであります。更に此の占領を最も特徴づけるものは利害相反すると思われれる占領という環境の中に生まれた西国民の間の信頼と友情であります。言語習慣の相違から来る多少のトラブルはあったであらう。しかし、そういう障害にもかかわらず、両者の信頼と友情は健やかに育ち、いかなる外部の力をもつても、これを割き得ない緊密な関係になつていたのであります。  
もちろん我々はこの緊密な関係の上にただ要如として手をこまねいて楽観しているべきではありません。信頼も友情もそれは常に絶えざる努力によつて高めていかねばなりません。我々は占領終了の後もアメリカの良き友として、ますます相協力して崇高な共通の理想と念願し、これを心から喜びとするものであります。最後に情報部長殿はじめ部員各位のご健康をお祈り致します  
昭和二十七年  
四月二十六日  
岡山市長  
横山昊太

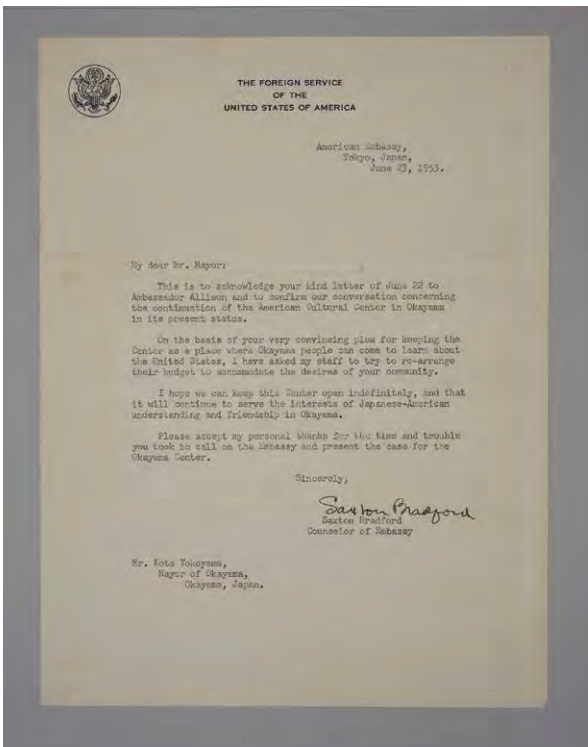
244 米国情報部隊長主催交歓会における祝辞 1952年（昭和27）4月26日付 岡山市立中央図書館所蔵・画像データ提供  
サンフランシスコ講和条約締結（4月28日）2日前の交歓会の祝辞案文です。長く悲惨な戦争とその後の占領が終わろうとしている感慨と、それまでと全く異なる価値観を日本に導入させた米国について述べられています。



左から県立図書館、岡山日米文化センター、県立視聴覚ライブラリー 岡山県立図書館画像データ提供

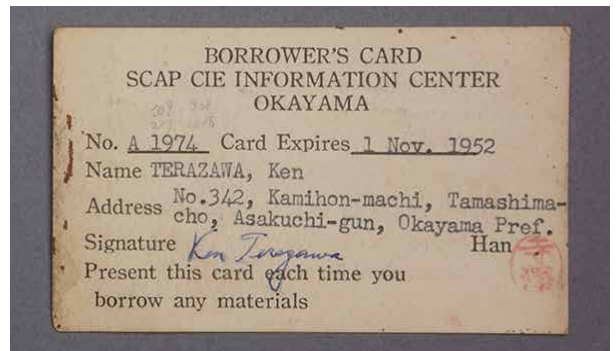
## 岡山 CIE 図書館と日米文化センター

現在の天神山文化プラザの建つ場所にはかつて岡山 CIE 図書館がありました。連合国軍最高司令官総司令部の民間情報局 (Civil Information and Education Section, CIE) の図書館で、日本への宣撫工作の一環として全国 23 カ所に設置された館の一つでした。岡山では 1950 年 (昭和 25) に岡山市・県の要請により 12 月に開館し、アメリカ式の開架式閲覧室、レファレンスサービスだけでなく、英会話教室やスクエアダンスパーティなどで大人気でした。開館した年には、半年で 10 万人の利用者があったといいます。占領終了後、1952 年 (昭和 27) 5 月 7 日には岡山アメリカセンターとなり、翌年 9 月に閉鎖、10 月に岡山県に移管されました。

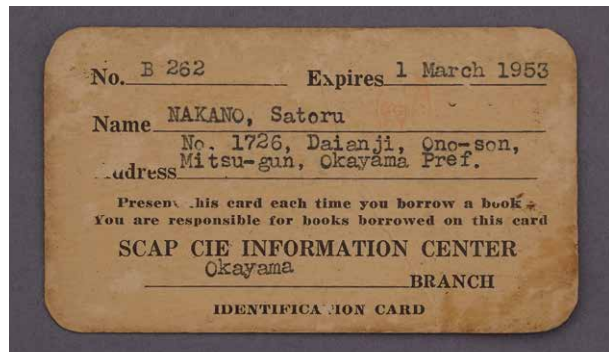


245 岡山市長横山昊太あて米国大使館参事官サクストン・ブラッドフォード書簡 1953 年 (昭和 28) 6 月 23 日付 岡山市立中央図書館所蔵・画像データ提供

岡山市長横山昊太が 6 月 22 日付でアメリカ大使にアメリカ文化センターの存続を願ったことに対する回答文書で、部下に存続するための予算案作成を命じたとあります。

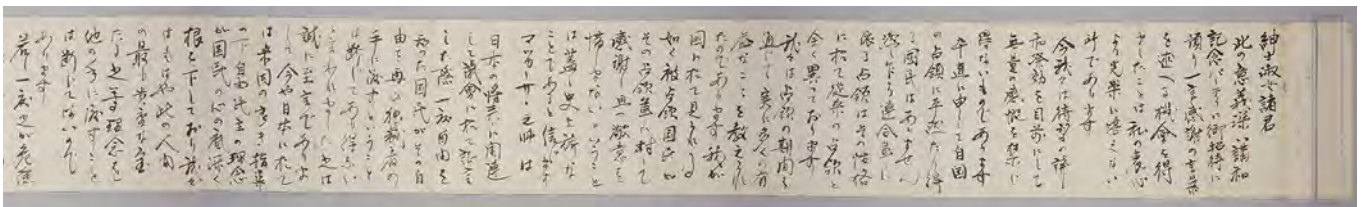


248 岡山 CIE 図書館の貸出カード 有効期限 1952 年 (昭和 27) 12 月 1 日まで



247 岡山 CIE 図書館の身分証明書 有効期限 1953 年 (昭和 28) 3 月 1 日まで

英会話教室に通っていた旧所蔵者は出入りする際にこのカードが必要だったそうです。また、本を借りる際にはこのカードを提示するように、との注記もあるので、このカードで本も借りられたようです。



(本文)  
 紳士淑女諸君  
 この意義深い講和  
 記念パーティに御招待に  
 預かり一言感謝の言葉  
 を述べたことは私の衷心  
 より光栄に堪えない  
 所でありませぬ  
 今我々は待望の講  
 和発効を目前にして  
 無量の感懐を禁じ  
 得ないものであります  
 率直に申して自国の  
 占領に平然たりえ  
 る国民はありません  
 しかしながら連合軍に  
 よる占領はその性格  
 において従来占領と  
 全く異なっております  
 我々は占領の期間を  
 通じて実に多くの有  
 益なことを教えられ  
 たのであります。我が  
 国において見られる  
 ごとく被占領国民が  
 その占領軍に対して  
 感謝し、かつ敬意を  
 借しまないということ  
 は、けだし史上稀な  
 ことであると信じます  
 マッカーサー元帥は  
 日本の将来に關連  
 して議會において証言  
 した際、一度自由を  
 知った国民がその自  
 由を再び独裁者の  
 手に渡すということ  
 は断じてあり得ない  
 ことと述べられました  
 誠に至言でありま  
 して今や日本におい  
 ては米国の良き指導  
 が国民の心の底深く  
 根を下ろしてあり、我  
 々の最も貴重な宝  
 たるこれら理念を  
 他の手に渡すこと  
 は断じてないの  
 であります  
 もし、一度これが危篤  
 (端裏書)  
 「米国情報部隊長主催  
 交歓会における祝辞  
 (二十七年)」